

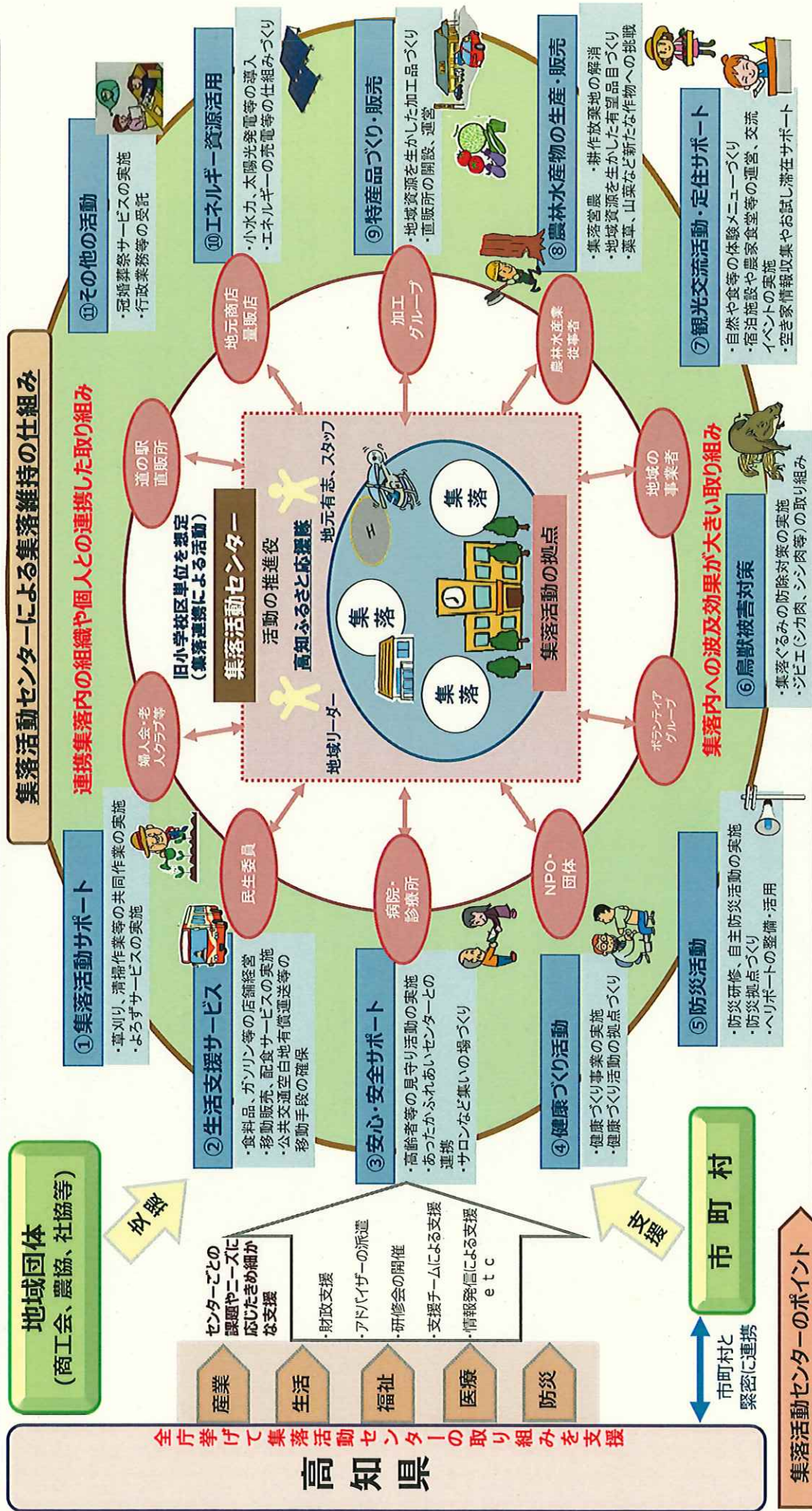
集落活動センターの取り組み概要

資料 3-1

地域の皆様のその一歩が
集落の未来をかえる！

集落活動センターとは

地域住民が主体となって、旧小学校や集会所等を拠点に、地域外の人材等を活用しながら、近隣の集落との連携を図り、生活、福祉、産業、防災などの活動について、それぞれの地域の課題やニーズに応じて総合的に地域ぐるみで取り組む仕組み



全庁挙げて集落活動センターの取り組みを支援

高知県

地域団体
(商工会、農協、社協等)

支援

- センターごとの課題やニーズに応じたきめ細かな支援
- 財政支援
- アドバイザーの派遣
- 研修会の開催
- 支援チームによる支援
- 情報発信による支援 e t c

市町村

支援

市町村と市町村に連携

集落活動センターのポイント

① 主役は、地域住民の皆さま
主役である住民の皆様と市町村の一体となった取り組みを支援

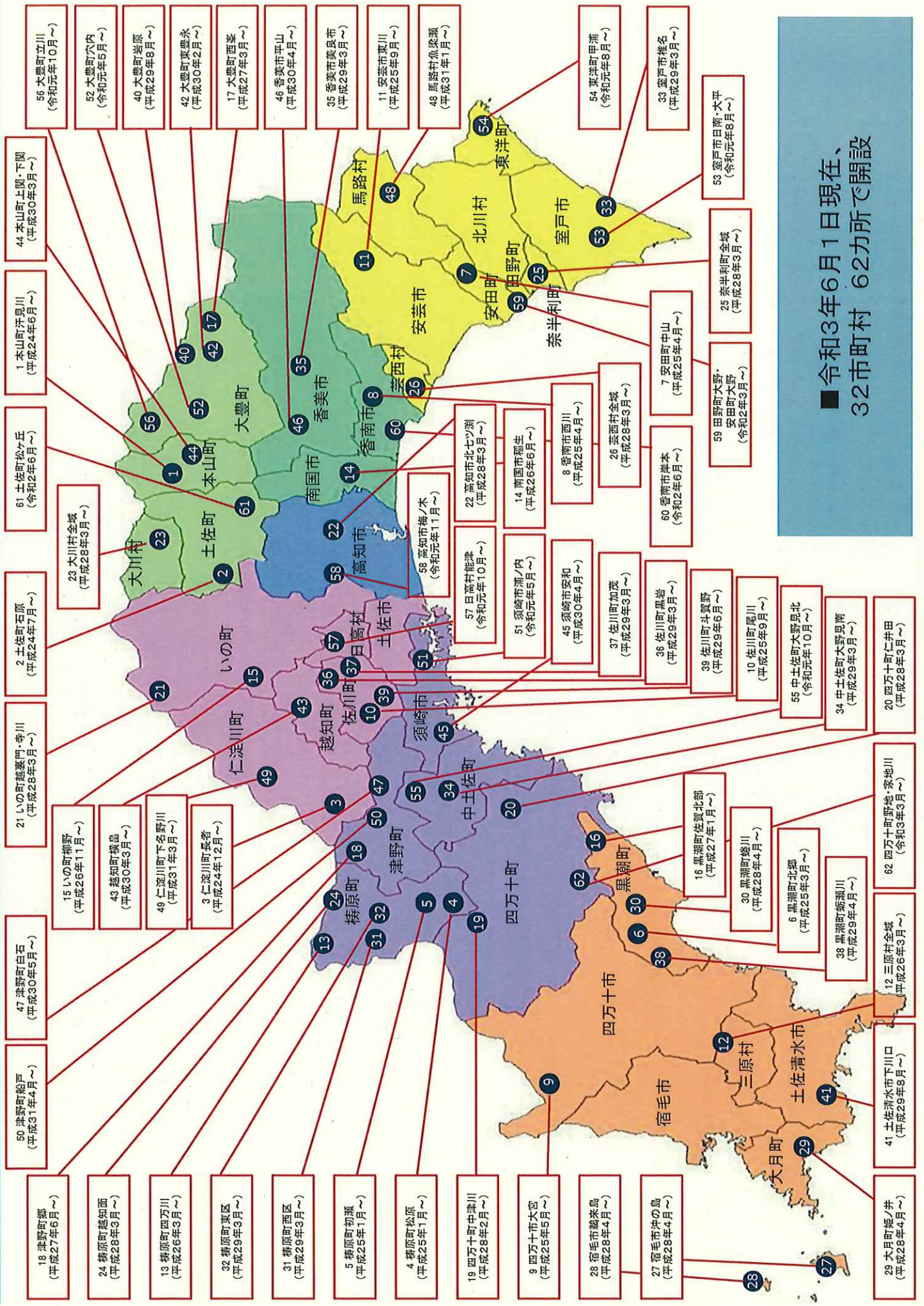
② 活動は地域のオーダーマイド
住民の皆さまの話し合いから生まれたアイデアや提案を取り組みに繋げる仕組み

③ 皆さまの集まりやすい場所が活動の中心
集会所や廃校となった施設など、住民の皆さまが自然と集い、語り合える場所が拠点

④ 様々な人材を活用
住民の皆さまと一緒に取り組むリターン、移住者など地域外の人材の導入

⑤ 集落の連携による取り組み
近隣の集落が互いに連携し、助け合うことにより、今までできなかったことが可能になる取り組み

集落活動センターの開設状況



■ 令和3年6月1日現在、
32市町村 62カ所で開設

集落活動センター開所地区の状況(令和3年6月1日現在)

NO.	市町村名	地区名	構成集落(集落数)	人口	世帯数	高齢化率	開所時期	名称(拠点施設)	実施主体
1	本山町	汗見川	立野、坂本、屋所、沢ケ内、瓜生野、七戸(6)	175	98	54.9	H24.6.17	集落活動センター「汗見川」 (汗見川ふれあいの郷 清流館)	汗見川活性化推進委員会
2	土佐町	石原	有間、峯石原、西石原、東石原(4)	314	160	50.0	H24.7.1	集落活動センターいしはらの里 (石原コミュニティセンター他)	いしはらの里協議会
3	仁淀川町	長者	木半夏、宮首、中ノ瀬上、中ノ瀬下、古田、石井野、打置、西古城山、東古城山、寺野、竹谷宮ヶ坪、日鉄宮ヶ坪、五味谷(14)	536	255	43.1	H24.12.1	集落活動センターだんだんの里 (だんだんの里)	だんだんくらぶ
4	梶原町	松原	大向、中平、上久保谷、下久保谷、松原、島中(6)	246	144	65.0	H25.1.12	集落活動センター「まつばら」 (松原ふれあいセンター他)	集落活動センター「まつばら」推進委員会
5	梶原町	初瀬	上折渡、下折渡、影野地、大野地、佐渡、初瀬本村、仲久保(7)	126	70	62.7	H25.1.12	集落活動センター「はつせ」 (鷹取の家他)	集落活動センター「はつせ」推進委員会
6	黒潮町	北郷	大屋敷、本谷、大井川(3)	116	64	59.5	H25.3.5	集落活動センター北郷 (旧北郷小学校)	北郷地区協議会
7	安田町	中山	間下、内京坊、正弘、別所、中ノ川、西ノ川、与床、小川、中里、船倉、瀬切、日々入(12)	500	256	56.0	H25.4.1	集落活動センターなかやま (旧中山小学校他)	中山を元気にする会
8	香南市	西川	口西川、中西川(2)	356	166	51.4	H25.4.12	西川地区集落活動センター (西川公民館)	西川地区集落活動センター推進協議会
9	四万十市	大宮	大宮上、大宮中、大宮下(3)	234	122	57.2	H25.5.26	大宮集落活動センターみやの里 (榎大宮産業)	大宮地域振興協議会
10	佐川町	尾川	高平、下郷、西山耕、中村、山田、堂野々、松ノ木、古畑、峰(9)	719	384	53.8	H25.9.19	尾川地区集落活動センターたいこ岩 (ふれあいの里尾川)	尾川地区活性化協議会
11	安芸市	東川	入河内、黒瀬、大井、古井、別役(5)	130	88	76.9	H25.9.29	東川集落活動センター「かまん東川」 (東川公民館)	東川地域おこし協議会
12	三原村	全域	下切、亀ノ川、広野、柚ノ木、宮ノ川、来栖野、皆尾、芳井、下長谷、上下長谷、上長谷、狼内成山(13)	1,489	750	46.3	H26.3.28	三原村集落活動センターやまびこ (三原村農業構造改善センター)	一般社団法人三原村集落活動センターやまびこ
13	梶原町	四万川	東向、富永、下組、東川、中の川、本も谷、茶や谷、井高、坪野田、文丸、神の山、坂本川、六丁(13)	479	246	56.8	H26.3.29	集落活動センター「四万川」 (四万川交流センター)	集落活動センター「四万川」推進委員会
14	南国市	稲生	立石、千田ノ木、間田、土居ノ谷、中谷、林谷、西谷、小久保、芦ヶ谷、北地、衣笠、丸山、井川、千屋崎(14)	1,579	736	40.8	H26.6.15	集落活動センター「チーム稲生」 (稲生ふれあい館)	集落活動センター「チーム稲生」
15	いの町	柳野	川原田、柳野本村、柳野上(3)	165	94	55.8	H26.11.23	集落活動センター柳野 (ふれあいの里柳野)	明るい柳野を創る会
16	黒潮町	佐賀北部	鈴、市野瀬、佐賀橋川、拳ノ川、拳ノ川団地、荷稻、川奥、小黒ノ川、中ノ川(9)	601	298	50.2	H27.1.25	集落活動センター佐賀北部 (旧拳ノ川保育園他)	佐賀北部活性化推進協議会
17	大豊町	西峯	野々屋、土居、久生野、大畑井、沖、蔭、柚木(7)	169	123	79.3	H27.3.22	集落活動センター「西峯」 (大豊町複合集会所「ひだまり」)	西峯地区活性化推進委員会
18	津野町	郷	旧宮、谷の内、郷内、王在家、枝ヶ谷、口目ヶ市、日曾の川、古味口(8)	314	154	52.5	H27.6.14	郷地区集落活動センター「奥四万十の郷」 (旧郷小学校(体育館))	郷地区集落活動センター「奥四万十の郷」
19	四万十町	中津川	中津川(1)	66	39	59.1	H28.2.14	中津川集落活動センター「こだま」 (中津川集落活動センター「こだま」)	大正中津川地区
20	四万十町	仁井田	床瀬、影野上、影野下、奥奥地、魚ノ川、下奥地東、下奥地西、替坂本、山株、六反地町、六反地郷、神有上、神有下、注ノ川、仁井田、浜ノ川、本田、小向、平串、富岡(20)	1,511	784	44.0	H28.3.12	集落活動センター「仁井田のりん家」 (旧影野保育所)	仁井田みらい会議
21	いの町	越裏門・寺川	越裏門、寺川(2)	67	38	80.6	H28.3.13	越裏門・寺川地区集落活動センター 「氷室の里」(旧越裏門幼稚園)	越裏門・寺川地区村おこし協議会
22	高知市	北七ツ洲	七ツ洲北(1)	15	6	46.7	H28.3.13	北七ツ洲集落活動センター「たけのこの里」 (七ツ洲北公民館)	北七ツ洲集落活動センター運営協議会
23	大川村	全域	船戸、小松、朝谷、大北川、高野、川崎、井野川、大平、小妻畝、小北川、大藪、下切、南野山、上小南川、下小南川、中切(16)	377	214	44.8	H28.3.16	大川村集落活動センター結いの里 (旧大川村つぼみ保育園)	大川村集落活動センター運営協議会
24	梶原町	越知面	横貝、太田戸、下本村、上本村、井の谷、永野、田野々々、上後別当(8)	521	268	48.0	H28.3.20	集落活動センター「おちめん」 (越知面遊友館)	集落活動センターおちめん推進委員会
25	奈半利町	全域	車瀬、中里、百石、樋ノ口、上長田、下長田、平松、東町、横町、立町、弓場、一区、二区、三区、四区、五区、六区、七区、八区、生木、宮ノ岡、法恩寺、六本松甲、六本松乙、平、花田、池里、米ヶ岡、宇川、須川、久礼岩、大原、西ノ平、加領郷、愛光園、港町(36)	3,119	1,684	44.6	H28.3.26	集落活動センターなはりの郷 (旧弘瀬家住宅他)	一般社団法人なはりの郷
26	芸西村	全域	西分浜西、西分浜中①、西分浜中②、第二、第一、長谷、松原、鍋西①、鍋西②、鍋西③、鍋中、鍋東、堀切、和食浜西、和食浜中、浜東、浜浦、叶木、正路、下組、下中、中村、西組、北組、城木、津野、笹ヶ森、榎家、西、中、井上、土居、芝岡、西地、東地、道家、国光、久重、洋寿荘、懸ヶ丘、中の城(40)	3,707	1,741	37.8	H28.3.26	集落活動センターげいせい (芸西村地域交流センター)	芸西村集落活動センター推進協議会
27	宿毛市	沖の島	母島、古屋野、弘瀬、長浜、久保浦(5)	150	88	62.7	H28.4.1	沖の島集落活動センター「妹背家」 (母島:沖の島開発総合センター 弘瀬:老人憩いの家)	沖の島集落活動センター「妹背家」
28	宿毛市	鶴来島	鶴来島(1)	38	29	63.2	H28.4.1	鶴来島集落活動センター「鶴来島」 (鶴来島離島センター)	鶴来島地域振興協議会
29	大月町	姫ノ井	姫ノ井、口目塚(2)	431	208	42.2	H28.4.1	姫ノ井集落活動センター「姫の里」 (姫ノ井ふるさとセンター)	姫ノ井集落活動センター「姫の里」推進協議会
30	黒潮町	蛸川	蛸川、仲分川、伴太郎、米原(4)	247	123	60.7	H28.4.1	集落活動センターであいの里蛸川 (旧蛸川小学校)	蛸川地区

集落活動センター開所地区の状況(令和3年6月1日現在)

NO.	市町村名	地区名	構成集落(集落数)	人口	世帯数	高齢化率	開所時期	名称(拠点施設)	実施主体
31	栲原町	西区	仲間、上西の川、下西の川、竹の藪、広野、宮野々、上成、松谷(8)	633	350	43.0	H29.3.19	集落活動センターゆすはら西(西区生涯学習館)	集落活動センターゆすはら西推進委員会
32	栲原町	東区	後別当、大蔵谷、東町、中町、北町、南町、西町、川西路、飯母、太郎川、神在居、仲洞、豊原、川井、川口(15)	1,417	685	37.2	H29.3.19	集落活動センターゆすはら東(旧若草保育所)	集落活動センターゆすはら東推進委員会
33	室戸市	椎名	椎名、飛鳥、清水、鹿岡(4)	346	203	64.7	H29.3.25	椎名集落活動センターたのしいな(旧椎名小学校)	椎名集落活動センターたのしいな運営委員会
34	中土佐町	大野見南	野老野、竹原、榎ノ川、芹田、川奥(5)	146	94	43.0	H29.3.26	大野見集落活動センターみなみ(大野見集落活動センターみなみ)	みなみの明日を考える会
35	香美市	美良布	上町、住宅、泉町、本町、新田、本田(6)	1,160	533	41.7	H29.3.30	集落活動センター美良布(美良布地区集落活動センター)	美良布地区集落活動センター推進協議会
36	佐川町	黒岩	四ツ白、二ツ野、中野、瑞市、庄田、上黒原、薬師堂・源重、原、峠、寺野、場所ヶ内、台住、平野、大田川(14)	1,035	509	48.0	H29.3.31	集落活動センターくろいわ(集落活動センターくろいわ)	黒岩いきいき応援隊
37	佐川町	加茂	長竹、竹ノ倉、横山、本村西、本村東、弘岡(6)	1,018	463	40.7	H29.3.31	集落活動センター加茂の里(集落活動センター加茂の里)	加茂の里づくり会
38	黒潮町	蛸瀬川	馬荷、大方橋川、御坊畑(3)	320	156	47.8	H29.4.2	集落活動センターかきせ(旧馬荷小学校)	集落活動センターかきせ
39	佐川町	斗賀野	舟床、川ノ内、山瀬、西山組、岩井口、塚谷、下伏尾、上伏尾、二ノ部、二ノ部丁、駅前丁、芝ノ坊、角口、狩場、野添、薄木、入香山、大平、上美都岐、西下美都岐、東下美都岐、榎野々、川原田、兔田、砂止、埴生ノ川、楠谷、中谷、南谷、鉢ヶ森、磯田、古用地、花ノ木、梅の木、鉢ヶ森西、山崎、鳥の巣(37)	3,192	1,446	38.0	H29.6.29	とかの集落活動センターあおぞら(とかの集落活動センターあおぞら)	とかの集落活動センターあおぞら運営委員会
40	大豊町	岩原	岩原、筏木、西峯三谷(3)	164	90	59.2	H29.8.21	集落活動センター「絆の里・いわはら」(岩原老人憩いの家)	いわはら地区活性化推進委員会
41	土佐清水市	下川口	下川口郷、下川口浦、南架ノ浦、貝ノ川郷、貝ノ川浦、大津、鳥淵、藤ノ川、坂井、有永、珠々玉、木ノ川、宗呂上、宗呂下、横峰、片粉、松山(17)	961	556	54.1	H29.8.26	集落活動センター下川口家(旧下川口保育園) ※正式名称において、「楽」の字を使用	集落活動センター下川口家
42	大豊町	東豊永	大平、大滝、高原、中内、怒田、南大王、八畝(7)	205	123	69.8	H30.2.4	東豊永集落活動センター(東豊永集落活動センター)	東豊永集落活動センター推進協議会
43	越知町	横畠西部	檜野、柚ノ木、栗ノ木、薬師堂、清水、深瀬、稲村(7)	184	100	55.4	H30.3.20	山笑ふ横畠集落活動センター(横畠西部公民館)	チーム横畠
44	本山町	上関・下関	上関・下関(2)	226	123	51.8	H30.3.21	集落活動センターなめかわ(上関集会所)	集落活動センターなめかわ運営協議会
45	須崎市	安和	南谷、田ノ浦、中の川内、本谷、沖、領久(6)	730	339	44.7	H30.4.1	集落活動センターあわ(JA土佐くろしお安和事業所(仮))	集落活動センターあわ
46	香美市	平山	平山、東川、曾我部川、大法寺北(4)	263	152	53.6	H30.4.1	集落活動センターひらやま(新改北部構造改善センター)	集落活動センターひらやま推進協議会
47	津野町	白石	大川、中野、中谷、駄場、桃ノ木、竹ノ谷、二ツ家、重谷、大西(9)	363	162	42.4	H30.5.20	集落活動センターしらいし(旧白石小学校)	白石活性化委員会
48	馬路村	魚梁瀬	魚梁瀬(1)	152	86	41.4	H31.1.9	集落活動センターやなせ(馬路村開発センター)	集落活動センターやなせ運営協議会
49	仁淀川町	下名野川	向井、土屋、斧ノ谷、松木、上屋敷、中、津江、長坂(8)	122	74	72.9	H31.3.8	集落活動センター山村自然楽校しもなの郷(山村自然楽校しもなの郷)	集落活動センター山村自然楽校しもなの郷運営協議会
50	津野町	船戸	下桑ヶ市、上桑ヶ市、西倉川、岩土、桂、船戸町、船戸奈路、中村、西の川(9)	430	203	47.2	H31.4.14	集落活動センターふなと(船戸地区集落活動拠点施設)	船戸活性化委員会「四万十川源流点」
51	須崎市	浦ノ内	切畑、馬路、谷、刈谷、山崎、菅、中ノ谷、北浦土取、大星、長万、清水、天神、大島、中平、戸波浦、横浪、鳴無、坂内、榎木、立目、出見、塩間、深浦、灰方、埋立、下中山、今川内、浦堀、福良、池ノ浦、須ノ浦(32)	2,761	1,462	34.9	R1.5.21	集落活動センターうらのうち(浦ノ内公民館)	浦ノ内地区地域自主組織
52	大豊町	穴内	敷岩、穴内-1、穴内-2、穴内三、磯谷、尾生(7)	223	129	57.4	R1.5.25	集落活動センターあなない(穴内公民館)	穴内地区活性化推進委員会
53	室戸市	日南・大平	日南、大平(2)	80	45	66.3	R1.8.10	日南・大平集落活動センターひなたぼっこ(旧日南小学校)	日南・大平集落活動センターひなたぼっこ運営協議会
54	東洋町	甲浦	甲浦東、中町、西町、白浜、小池、原、河内、生見(8)	1,427	800	50.8	R1.8.30	甲浦集落活動センターなぎ(白浜地区集会所)	甲浦集落活動センターなぎ協議会

集落活動センター開所地区の状況(令和3年6月1日現在)

NO.	市町村名	地区名	構成集落(集落数)	人口	世帯数	高齢化率	開所時期	名称(拠点施設)	実施主体
55	中土佐町	大野見北	神母野、寺野、大段、萩中、下ル川(5)	294	161	62.0	R1.10.1	集落活動センターおおのみきた (旧大野見北小学校)	大野見北地区振興会
56	大豊町	立川	立川三谷、中央、刈屋、中和、仁尾ヶ内(5)	104	75	87.5	R1.10.7	集落活動センター そばの里 立川 (立川公民館)	立川地区活性化推進委員会
57	日高村	能津	鶴地、長畑、宮ノ谷、本村、大花、名越屋、柱谷(7)	422	243	56.4	R1.10.25	能津集落活動センターミライエ (能津集落活動センターミライエ)	一般社団法人能津未来
58	高知市	梅ノ木	小山・梅ノ木・葛山・増原(4)	78	39	55.3	R1.11.1	集落活動センター梅の木 (梅ノ木公民館)	集落活動センター梅の木運営協議会
59	田野町 安田町	大野	田野町大野、安田町大野(2)	202	87	45.0	R2.3.17	集落活動センター大野台地 (大野地区集会所)	集落活動センター大野台地運営協議会
60	香南市	岸本	岸本1区、岸本2区、岸本3区、岸本4区、岸本5区、岸本6区、岸本7区、岸本8区、岸本9区、岸本10区、岸本11区、岸本12区、岸本13区、岸本14区、岸本15区、岸本16区、岸本17区、岸本18区、岸本19区、岸本20区、岸本21区、岸本22区、岸本23区、岸本24区(24)	1,024	484	41.2	R2.6.17	岸本集落活動センター (かっぱや)	岸本地区集落活動センター推進協議会
61	土佐町	松ヶ丘	溜井、伊勢川、上野上(3)	250	114	44.0	R2.6.28	集落活動センター松ヶ丘 (松ヶ丘コミュニティセンター)	集落活動センター松ヶ丘運営委員会
62	四万十町	野地・家地川	野地、家地川(2)	207	97	44.0	R3.3.28	家地川集落活動センターけやき (旧家地川小学校)	四万十オールモ組合

令和3年度 集落活動センターの取り組み状況等について

安芸地域本部

1 管内の概況		
【集落活動センターの開設状況】 (9箇所)		【開設に向けて準備している地域】 (2箇所)
東洋町 (甲浦)	安田町 (中山)	室戸市
室戸市 (椎名、日南・大平)	馬路村 (魚梁瀬)	安田町
奈半利町 (全域)	安芸市 (東川)	
田野町・安田町 (大野)	芸西村 (全域)	
2 現状と課題		
【集落活動センター】		
<p><活動全般></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知ふるさと応援隊が事務局機能を担いながら、地域住民の意向をふまえて、集いの場づくり、子どもの居場所づくり、交流イベントなどを行っている地域が多い。 ・コロナウイルスの影響で交流イベントなどが実施できず、集落活動センターとしての活動の発展に支障が生じている地域が多い。 ・高知ふるさと応援隊を複数名配置している地域や、人口が比較的多い地域では、耕作放棄地での農作物の生産・加工品開発や販売などにも力を入れている地域が多い。 ・加工品づくりに取り組むセンター同士が意見交換を行ったり、施設整備を計画しているセンターの住民が近隣のセンターの視察を行うなど、管内のセンター同士で連携しながら体制づくりや活動の充実に取り組む事例が増えてきた。 ・拠点施設を整備して、加工品づくりやコミュニティカフェの運営を行っているものの、担い手不足から活動日数が月に数日程度となり、施設を有効に活用し切れていない事例がある。 ・多くのセンターで、活動メンバーの固定化・高齢化、人材確保・育成、運営費の確保などの課題がある。 <p><経済的な活動/生活支援></p> <ul style="list-style-type: none"> ・芸西村のシキミ・サトウキビ、安田町中山の自然薯などは複数年にわたり生産に取り組んでいるが、農業・林業部門の技術的な支援を必要とする課題が増えてきている。 ・安芸市東川のゆず採り・お茶摘み体験、室戸市椎名のピン玉ロープ・ピザづくり体験、奈半利町のマリンアクティビティなど、センターの受入れ体制に応じた規模で、体験型のイベント・観光に取り組んでいる。 ・安田町中山では、あったかふれあいセンターとも連携して健康づくり活動に取り組んでいる。 <p><運営体制></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知ふるさと応援隊の配置や施設の指定管理など、市町村の支援が充実しているセンターが多い。 ・一方で、ふるさと応援隊に経理業務や活動の担い手としての業務が集中し、役員をはじめとする住民がセンターの活動への参加に消極的になりがちなどところや、ふるさと応援隊の早期離職が続いているところもある。 <p>【集落活動センターの開設に向けた動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでに運営母体を設置して、集落活動センターに関する勉強会や講演会を実施し、今年度はブロック単位でのワークショップの開催を計画するなど、地域住民を巻き込みながらセンター開設に向けた準備を進めている地域がある。 ・設立準備委員会を設置して活動内容を検討しているが、活動拠点について市町村との協議が進んでいない地域がある。 		

3 今年度の取り組み方針

- ・補助事業・先進事例などの紹介と導入支援、主体的な活動の実践に向けた支援などを行う。
- ・高知ふるさと応援隊が、地域に馴染み、市町村担当者とも良好な関係を築くことができるよう支援する。
- ・課題などには、市町村や関係部局と連携しながら対応する。

<各部局と連携が必要な事項>

【農業振興部】農作物栽培の技術的支援、6次産業化に関する支援

【林業振興・環境部】シキミ栽培の技術的支援

【商工労働部】加工品開発の際の賞味期限・消費期限延長の相談、菌検査等の実施

【健康政策部】食品法規、営業許可、臨時販売等の確認

【観光振興部】情報発信

令和3年度 集落活動センターの取り組み状況等について

物部川地域本部

1 管内の概況	
<p>【集落活動センターの開設状況】 (5箇所) 香南市 西川、岸本 南国市 稲生 香美市 美良布、平山</p>	<p>【開設に向けて準備している地域】 (1箇所) 香美市</p>
2 現状と課題	
<p>【集落活動センター】</p> <p>＜活動全般＞</p> <p>(開所後一定年数を経た集落活動センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開設時に検討していたサロンやイベント等の活動を継続して実施。 ・活動に参加するメンバーは固定化・高齢化しており、人材確保が課題。 ・行政の支援を初めから想定している集落活動センターがあり、意識改革が課題。 <p>(開所して間もない集落活動センター)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開所前から行っていたイベント等に加え、計画している活動に向けて取り組みを継続。 <p>＜経済的な活動/生活支援＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商品開発・販売は、収益目的でなく、参加者の生きがいづくりや地域の認知向上のために行っており、集落活動センターに資金面で寄与していない。 ・集落活動センターが行うイベントで、好評だが来訪者が増えず、地域で対応できない状態に至ったものがある。 ・開所して間もない集落活動センターには、自主財源の確保に向けて特産品の開発に取り組もうとしているセンターがある。 ・サロン活動は継続して行っているものの、コロナ禍以降参加されなくなった方がいる。 <p>＜運営体制＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センターの活動を支援するため、市が集落支援員を雇用して、集落の意見集約や資料作成などを行っており、円滑なセンター運営に欠かせない役割を担っている。 ・開所後一定年数を経た集落活動センターでは、メンバーと同様に役員も固定化・高齢化。 ・開所して間もない集落活動センターでは、内部での調整が十分でないセンターがある。 <p>【集落活動センターの開設に向けた動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・準備会を立ち上げ、開設に向けた協議を継続。集落活動センターの運営組織となる協議会を新たに設立し、協議の場をこの協議会に移すことを現在は協議している。 	
3 今年度の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・支援にあたってはそれぞれ(集活センター・市町村・県等)の役割を確認しながら実施。 ・活動の継続・拡大に向け、利活用できる施策の紹介や、新しいメンバーの確保等について支援。 <p>＜各部局と連携が必要な事項＞</p> <p>【健康政策部・産業振興推進部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HACCP対応や、食品表示に関する情報提供及びアドバイザー導入支援 <p>【農業振興部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6次産業化や直販所に関するセミナーの情報提供及びアドバイザー導入支援 <ul style="list-style-type: none"> ・新たに開設を目指す地域には、地域に即した取り組みの協議に市町村とともに参加し、その実現に向けて、施策の紹介等も通じて支援。 	

令和3年度 集落活動センターの取り組み状況等について

高知市地域本部

1 管内の概況	
<p>【集落活動センターの開設状況】 (2箇所) 高知市北七ツ渕 高知市鏡梅ノ木</p>	<p>【開設に向けて準備している地域】 (1箇所) 高知市春野町</p>
2 現状と課題	
<p>【集落活動センター】</p> <p>＜活動全般＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高知市における集落活動センターは、それぞれ集落営農組織が母体となっており、農林産物の生産・販売等が活動の中心である。 ・開設から間もない集落活動センターにおいては、拠点施設である市所有の公民館が耐震診断の結果、建て替えが必要となり、R2年度から基本設計を、R3年度には実施設計及び既存施設の取り壊しを行う。R4年度には公民館との合築による新たな施設が整備され、本格的な活動を開始する。 <p>＜経済的な活動＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落営農に取り組み、中でも、タケノコ、四方竹、イタドリなどの特用林産物の収益事業を中心とした活動が活発である。 ・開設から間もない集落活動センターにおいては、現在、農林産物（イタドリ、タケノコ、梅、四方竹等）の加工に向けて、加工部会が創設され、事業収支や製造工程等について話し合いを進めている。 ・加工品の製造にあたっては、食品衛生法等への対応が課題となる。 <p>＜運営体制＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落活動センターの事務局機能等を代表自らが担っており、負担が大きい。 ・それぞれ、規模が小さく、地域におけるプレイヤーが限定されるため、今後、新たな活動を展開していくためには、人材の確保・組織体制の充実が課題と考える。 <p>【集落活動センターの開設に向けた動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従前から住民主体の防災活動が活発な地域であり、コロナ禍の中、近隣の福祉施設や移住者等の協力を得て、歴史・文化の継承、地域の賑わいづくり等、精力的な活動を続けている。 ・R3年度内のセンター開所を目指しており、現状の地域活動のほかに、<u>経済活動につながる農作物の栽培による基盤作りに着手</u>。呼応して、センター開所後の活動拠点となる施設について、地元住民・県・市の三者で検討を進めており、高知市から大筋の案が示されている。 	
3 今年度の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・住民の主体的な意見を尊重しながら、市・県関係各課等と十分な情報共有を行って、行政が一丸となった支援を行っていく。 <p>＜各部局と連携が必要な事項＞</p> <p>【農業振興部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落営農組織、6次産業化、HACCP対応、食品表示、加工品の試作等に対する継続した支援 ・農作物の栽培支援 <p>【林業振興・環境部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イタドリ等の特用林産物の生産拡大に向けた支援 	

令和3年度 集落活動センターの取り組み状況等について

嶺北地域本部

1 管内の概況	
<p>【集落活動センターの開設状況】 (10箇所) 本山町 汗見川、上関・下関 大豊町 西峯、岩原、東豊永、穴内、立川 土佐町 石原、松ヶ丘 大川村 全域</p>	<p>【開設に向けて準備している地域】 (2箇所) 土佐町</p>
2 現状と課題	
<p>【集落活動センター】 <活動全般> ・大豊町に新しく直販所ができたことで、そこで販売する食品加工品の開発等の動きが<u>町内の他のセンター</u>で見られるようになり、波及効果が出ている。 ・イベント等へ積極的に参加・出展し、<u>センターのPRや特産品の販路拡大等</u>に取り組むとともに、コロナ禍でも<u>オンラインで体験できるメニュー(そば打ち体験など)</u>を実施している。</p> <p><経済的な活動> ・<u>体験メニューの見直しやPRチラシ等の充実</u>を図るとともに、<u>OTAサイトへ登録</u>するなど、集客に取り組んでいる。 ・<u>地元企業が製造するジュースの原材料(シソ)を確保</u>するため、<u>農業改良普及所の協力</u>により栽培マニュアルを作成し、<u>地域住民および町内の他集活センターでの生産拡大</u>に取り組んでいる。 ・<u>アドバイザー制度を活用し、飲食メニューや特産品・加工品の開発や磨き上げ</u>を行い、<u>飲食事業・物販事業の拡充</u>に取り組んでいる。 ・R2年度前半はコロナで<u>山の動きが鈍く杉苗の注文が少なかったこと</u>や、<u>栽培技術を確立するまで</u>に至っておらず、<u>枯れる苗が多数あったこと</u>など、作業するメンバーのモチベーションが下がることがもあった。</p> <p><運営体制> ・<u>設立から年月が経過し、若手メンバーによって運営組織のあり方が検討</u>され、その意見を取り入れた<u>組織改編</u>がなされるなどの動きがみられる。 ・<u>会計を含め、事務的な仕事を何もかも会長が行っている状況</u>であり、<u>会長職の負担が非常に大きい</u>。 ・<u>杉苗栽培の事業計画(8万本×140円=11,200千円)</u>では、<u>専任の人材を雇用</u>することも目標として規模を拡大してるが、<u>適当な人材が見つからない</u>。</p> <p>【集落活動センターの開設に向けた動き】 ・土佐町の2箇所において、開設に向けた準備組織が立ち上げられ、活動内容等の検討が進められている。</p>	
3 今年度の取り組み方針	
<p>・集落活動センターへの集客や特産品の開発・販売促進に向けて、<u>旅行商品作りやイベント等への出展</u>など支援する。 (観光振興部・各部局が開催するイベントへの出展) ・嶺北地域(汗見川)と歴史的につながりのある<u>大阪市西区との交流</u>を支援する。 (相互交流や地産外商の促進に関する大阪事務所の支援)</p>	

- ・ジュースの原材料となるシソ生産量の拡大を支援する。
(農業改良普及所による栽培技術の助言・指導)
- ・売れる商品となるよう商品の開発や磨き上げを行い、併せて販路先の確保に向けて支援する。
(各部局からのアドバイザーの派遣)
- ・良質な杉苗が安定して生産できるよう栽培技術向上を支援する。
(林業振興事務所・森林技術センターによる育苗技術の助言・指導)
- ・集落活動センターの運営を支える人材の確保に向けて支援する。
(地域おこし協力隊等)

令和3年度 集落活動センターの取り組み状況等について

仁淀川地域本部

1 管内の概況	
<p>【集落活動センターの開設状況】 (10箇所) 佐川町 (尾川、黒岩、加茂、斗賀野) 日高村 (能津) いの町 (柳野、越裏門・寺川) 越知町 (横畠西部) 仁淀川町 (長者、下名野川)</p>	<p>【開設に向けて準備している地域】 (1箇所) 越知町</p>
2 現状と課題	
<p>【集落活動センター】</p> <p>＜活動全般＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・佐川町の4つの集落活動センターには、あったかふれあいセンターが併設されており、両センターの特徴を活かして活動。 ・新たな集落活動センターでは、<u>体験型観光や物販など交流人口の拡大を皮切りに取り組みを開始しており、PR等による利用促進などの収益性確保が課題。</u> ・地区人口が減少していく中で、センターの活動内容や規模は、運営組織の意向や地域特性に応じて、無理せず継続し、地域にプラスを生み出せることを基本に展開。 ・集落活動センターの活動の継続では、<u>運営に関わる方や若い住民の参画が少ないなど、運営組織メンバーが高齢化・固定化してきており人材確保が課題。</u> <p>＜経済的な活動/生活支援＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原木まいたけや、イタドリの栽培などは徐々に規模が拡大。 前年秋から開始のクラフトビールの製造販売は、徐々に販路を確保しながら生産。 <u>集落活動を支えるためには一定の収益性の確保向上が必要。</u> ・生活支援は、あったかふれあいセンターが設置されているところは連携して実施し、他では地域により配食サービスや集いの場の提供などを実施。 <p>＜運営体制＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落活動センターの安定的な運営のため、集落支援員の配置や、施設の指定管理など、市町村の人的、財政的支援が充実しているセンターが多い。 ・一方、集落支援員への事務等の負担集中や、支援員の補助対象期間終了後の人員などは課題継続的にセンターの運営を担うために、<u>地域の新たな参画者など継続的な人員確保が必要。</u> <p>【集落活動センターの開設に向けた動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落活動センターを目指していた地域で、一旦話し合いが中断し、その後に改めて協議していく方向となっており、<u>地区や住民の望む方向に向けて、丁寧に合意形成を図りながら、進めていくことが重要。</u> 	
3 今年度の取り組み方針	
<p>必要な施策の紹介や導入支援、センターの活動への細やかなサポートの実施。 新たに開設を目指すところには、市町村等と連携し合意形成が図られるよう丁寧に支援。</p> <p>＜各部局と連携が必要な事項＞</p> <p>【観光振興部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落活動センターが取り組む観光関連事業のPR支援等 <p>【林業振興・環境部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有望な栽培品目の提案や栽培の技術指導等 <p>【農業振興部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集落営農や直払制度の活用、有望品目の提案や技術指導、販路開拓支援 	

令和3年度 集落活動センターの取り組み状況等について

高幡地域本部

1 管内の概況	
<p>【集落活動センターの開設状況】 (16箇所)</p> <p>須崎市(安和、浦ノ内) 中土佐町(大野見南、大野見北) 津野町(郷、白石、船戸) 四万十町(中津川、仁井田、家地川) 檜原町(松原、四万川、初瀬、越知面、檜原西、檜原東)</p>	<p>【開設に向けて準備している地域】 (2箇所) 津野町</p>
2 現状と課題	
<p>【集落活動センター】</p> <p>＜活動全般＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の見守りや交流活動など住民の連携強化を中心とした取り組み、経済活動による雇用の創出を目指す取り組み、移住・定住の促進を目指す取り組みなど、それぞれ特色ある活動が展開されている。 ・檜原町では、6地区全ての集落にセンターが開所されるとともに、町単独で連絡協議会を設置することにより、相互に連携・補完しながら活動の活性化を図っている。 ・活動メンバーの高齢化等に伴う活動規模の縮小により、拠点施設の維持管理費の負担が困難となるなど、次世代の人材確保が課題となっている。 ・センターの活動を維持・継続していくためには、地域全体で役割分担をしながら活動に関わる体制づくりを進める必要がある。 <p>＜経済的な活動/生活支援＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の特産品を活用した加工品等の販売先は、主に地区内外の直販所であるが、キムチやおからパウダー等は、量販店との取引にもつながっている。 ・組織内に設立した企業組合がジビエ肉の加工・販売や宿泊施設の運営を行う等、経済活動に意欲的な取り組みや、また、地域住民が出資した会社等がガソリンスタンドや葬祭事業、有償運送事業を実施する等、地域の生活支援を担う取り組みが進んでいる。 <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域版のふるさと寄付金制度の創設による地区出身者を中心とした交流人口拡大 ・NPO法人と連携した空き家探しや移住者受入事業の実施 <p>＜運営体制＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・センターの事務局機能を担うため、集落支援員や地域おこし協力隊が配置されることが多く、補助期間終了後の人件費の負担及び人材の確保が課題 ・役員や活動メンバーの高齢化・固定化 <p>【集落活動センターの開設に向けた動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域住民が自主的に取り組んできた観光・交流事業等を地域おこし協力隊が支援することで、活動の活性化を図り、今後の活動のあり方を検討していく。 ・外部アドバイザーを活用し、イベントや加工品の製造販売などの活動の整理や実現可能な体制づくりを検討していく。 	
3 今年度の取り組み方針	
<p>市町村と連携、情報共有を図りながら、地域の想いを丁寧に聞き取り、課題に応じた支援を行う。</p> <p>＜各部局と連携が必要な事項＞</p> <p>【農業振興部、林業振興・環境部】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培技術支援 	

【健康政策部】

- ・HCCAPへの対応支援

【産業振興部】

- ・商品開発へのアドバイス 販路開拓への支援

令和3年度 集落活動センターの取り組み状況等について

幡多地域本部

1 管内の概況	
<p>【集落活動センターの開設状況】 (10箇所)</p> <p>四万十市 大宮 大月町 姫ノ井 土佐清水市 下川口 三原村 全域 宿毛市 沖の島、鶴来島 黒潮町 北郷、佐賀北部、蛭川、蛸瀬川</p>	<p>【開設に向けて準備している地域】 (3箇所)</p> <p>四万十市 大月町</p>
2 現状と課題	
<p>【集落活動センター】</p> <p>＜活動全般＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の課題やニーズに応じて様々な活動を行っており、継続的な活動として地域に定着するとともに、ステップアップに取り組んできた。 昨年度は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、交流活動や生活支援サービスの多くが中止や延期となったため、アドバイザー制度を活用し、ウィズコロナ・アフターコロナの地域活動のあり方について話し合いを行った。 <p>＜経済的な活動＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 直販所やカフェの運営、農作物の栽培など様々な活動を行っており、中には特産品販売や観光事業を行うなど地域APの事業者としても活動しているところや、行政が推進するスポーツツーリズムの役割を担う一員として、宿泊事業や弁当の製造を行っているところもある。 一方で、経済活動に対する抵抗を感じる地域があることや、アドバイザーを活用しても、実践活動に繋げる経営感覚を有する人材が不足していることから、センターの運営費や施設維持費の確保が課題である。 <p>＜地域情報の発信＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域内に担い手が不足する中、地域の動きや元気な姿を地域外に発信し、出身者との結びつきを強め、関係人口を増やす手段としてSNS等の活用に取り組んでいる地域もあるが、関係者の多くが高齢者で苦手意識があることから、効果的な活用が広がりにくい。 <p>＜運営体制＞</p> <ul style="list-style-type: none"> センターの活動が役員や一部のメンバーに限定され、会長をサポートし、会員の意見を調整して組織をまとめたり、経理的な業務を担える人材を見いだせない状況にある。 活動メンバーの高齢化が進んでいる中、センターの多くがほぼ無償のボランティアで労務を提供している状況であり、次世代の担い手を確保するには人件費の捻出が課題である。 県が支援する3年間のみふるさと応援隊を配置することを基本としている市町村もある一方、市町村負担で集落支援員を配置しているところもある。 <p>＜その他＞</p> <ul style="list-style-type: none"> H30年11月、竹葉会長（大宮集落活動センターみやの里）の呼びかけにより、「幡多地区集落活動センター連絡協議会」を設立。幡多管内におけるセンター間の相互交流を促進し、センターの活動のさらなる充実と地域への広がりを目的として活動している。 <p>【集落活動センターの開設に向けた動き】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域のつながりを維持するための集いの場の確保や、生活を支える活動を継続して取り組んでいくためにも自主財源の確保は必要であり、無理せず継続できる収益活動について意見交換を行い、事業計画を作成していく予定である。 	
3 今年度の取り組み方針	
<p>＜活動全般＞</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍においても活動が停滞しないよう、早々に事業やイベントを中止・延期するのではなく、感染症対策をとるとともに、実施方法を工夫することで継続できるよう地域と一緒に考える。 うちんくのビジネス塾やアドバイザー制度等を活用し、加工品づくりや研修会等、地域のやりたいことを形にできるよう取り組む。 <p>＜各部局と連携が必要な事項＞</p> <p>【農業振興部、林業振興・環境部】</p> <ul style="list-style-type: none"> 有望な栽培品種目の提案や栽培等の技術指導、販路確保への支援 加工品づくりへの助言 	